

## 校長室から

校長 芳賀 雄太

10月10日(火)～14日(土)の4泊5日間で2年生の見学旅行が実施されました。天候にも恵まれ、京都、大阪方面での有意義な研修となりました。

日本において新型コロナウイルスの5類移行に伴い、海外から多くの観光客が来ていることを目の当たりにし世界の中でも日本の文化を観たい、触れたいと考える外国人がいかにも多いことかと実感させられました。

さて、5日間ではありますが、本校のように小規模ながらも見学旅行を通して集団行動や寝食をともにする集団生活では、寮生の多い日頃の生活の「効果」を垣間見たような気がしました。

日頃から相手を尊重し、互いを気に留めながら言葉を発したり行動することが習慣となっている集団は、ある種のまとまり感があることが伝わってきます。一刻の楽しさや自己満足にとらわれることなく、そのメンバー全員が一体となって行動できることは大切なことであり、日本人の良さとも言えます。

2年生はこの後、いよいよ自己進路の選択や決定に向けた取組みがはじまります。自分の夢や希望に向かうことは大切ですが、そのことを社会でどう役立てられるかということにも思考を巡らせ、全員が「進路の実現」という共通の目的に向かって、これから時間を大切に過ごしてもらいたいと思います。

## 10月のトピックス

### 稲刈り交流学习 10月3日(火)

10月3日(火)に遠別小学校の5年生21名と本校の2年生23名が稲刈り交流学习を行いました。この交流学习は、本校で栽培しているもち米がどのように作られているのかを学とともに稲刈り交流を通して小学生に農業への興味関心を持ってもらうことを目的にしています。内容は田植、生育調査、稲刈り、餅つき交流までの一連の流れを学ぶことができます。

小学生たちは水が残る水田で泥だらけになりながらも稲刈りを行いました。小学生のコメントを紹介します。「想像していたよりもこんなに収穫が大変なんだと知りました。」と話していました。

これからも交流学习を通して、小学生たちが楽しく農業について学べるように協力していきたいと考えています。



## 11月の行事予定

10/25～26 (水～木)	農業クラブ全国大会	11/10 (金)	生産物感謝祭
10/27 (金)	マルシェ	11/15 (水)	遠農マルシェ
11/2 (木)	いじめ防止集会		
11/7～8 (火～水)	ASIAGAPの公開審査		



## 1日防災学校 10月6日(金)

10月17日(火)4～6校時に1日防災学校を行いました。4校時は地震・津波を想定した避難訓練を行い、5・6校時には、留萌振興局地域創生部 西嶋 法博様をお招きし、避難所運営ゲーム(Doはぐ)を行いました。生徒は他学年混合の8グループに分かれ、それぞれ意見やアイデアを出しながら積極的に取り組んでいました。当日は遠別町との交流を含め、遠別町役場総務課の武田 峻己様にも来校していただき、実際に生徒が活動している姿を見ていただきました。今回の防災学校を通して、少しでも防災に関する知識が身につけていることを願います。

### \*3年 川村 佳海太さん

「今回の防災学校を通して、避難所運営の大変さを改めて実感しました。Doはぐでは避難者の振り分けが大変でした。1人1人が抱えている問題が違ったりするのでそこを考慮して場所を考えたり、渡す物資をどこでいくつ渡すか考える必要があるのでアイデアを出しあったりすることで、皆と協力して1つ1つの問題を解決出来たと思います。実際に自分が避難者になった時、少しでも運営や本部の方々のお手伝いをするのは難しいですが、状況を判断し、本部の人に伝えることだけでも力になると思うので、小さなことでも積極的に行うことが人の命や誰かの手助けになるのかなと思いました。」

### \*2年 岡本 竜之介さん

「避難所運営ゲームでは、様々な避難者やイベントがあり、ニーズに合わせた分け方をすることがとても難しかったです。また、防災グッズが届いた時に、どこのエリアに配置するかなど、グループの人と意見交流をすることができました。今後、実際に避難所の運営をすることになったら、今回学んだことを生かしていきたいと思いました。今回お忙しい中、私たちに説明をしてくれた留萌振興局の西嶋様、本当にありがとうございました。」



## 有機JAS認証の現地検査 10月24日(火)

10月24日(火) 遠別農業高校は有機JAS認証の現地検査を受けました。本校は2017年から有機JAS認証を受けており毎年安全で美味しい有機農産物を生産しています。この現地検査は2年生の作物の授業で行い、生徒たちは検査員の質問に対して資料をもとに的確に回答していました。

2年生富田さんの感想を紹介します。

「有機の現地検査は思っていたよりたくさんの確認事項があった。これは、農産物の品質や安全性を保ち、有機農業や生産者の信頼を守るために必要不可欠だと思った。また、検査員の谷内田様の説明がわかりやすく、私が知らない有機の基準や規格について知ることができたので、今後有機についてもっと勉強しようと思った。」以上、生徒の感想でした。これからも安全で美味しい農産物を生産できるようにしていきたいです。

